

ヒーティングバス 取付設置説明書



734S1805EG

型 式 HK-1172/1272A9-1L-L/R

設置をされる方へのお願い

- この浴槽を正しく安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよくお読みいただき、指定された設置を行ってください。
- 「取扱説明書」(保証書付)は、お客様に必ずお渡しください。
- この取付設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 当社の定める設置要領を逸脱しない据付に不具合(瑕疵)が生じ、設置者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- BL保険制度や当住宅部品の設置要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング(TEL03-5211-0559)でもお受け致します。
- この浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破碎の上、許可された処理場にて処分してください。
- 取り替え等で古い浴槽を処分する場合は、浴槽の材質を確認してください。
その後、許可を受けている処理業者に処分を依頼するか、破碎の上、許可された処理場にて処分してください。
なお、行政の条例等で処理方法が定められている場合は、そちらの指示に従ってください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◎表示マークについて

表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



注意

この表示の欄は「軽傷を負うことや物的損害のみが発生することが想定される」内容です。

- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

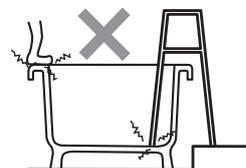
絵表示	意 味
	気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

安全上のご注意

注意



浴槽の上に乗って作業をしないでください。
足をすべらせたり、浴槽が転倒してけがをするおそれがあります。



浴槽固定金具は、指定された位置に必ず取付けてください。
また、浴槽設置時に浴槽の縁を固定金具に確実に挟み込んでください。
浴槽が転倒してけがをするおそれがあります。



浴槽に組込まれる水栓金具や循環パイプの接続金具は、それぞれの
説明書にしたがって、正しく取付けてください。
取付けが不完全な場合、水が漏れ、家財を汚したり、腐らせたりし
ます。



給排水管の接続は、必ずシールをしてください。
水漏れにより家財を汚したり、腐らせるおそれがあります。



取付設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに
記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。
誤った使い方をすると人体に影響がでたり、使用部材の劣化や損傷の
原因になることがあります。

取扱・設置上のご注意

注意



浴槽の運搬は二人以上でしてください。
浴槽を落として破損するおそれがあります。



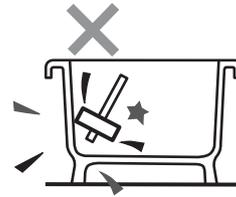
運搬中に浴槽をぶつけないでください。
傷が付いたり、破損するおそれがあります。
特に排水口部分は、破損すると水が漏れるので注意してください。



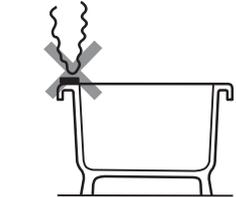
浴槽はガタつかないように、必ず水平に設置してください。
浴槽が転倒してけがをしたり、浴槽内に水が残る場合があります。
また、脚部の水平調整は、強度のある材料で行ってください。



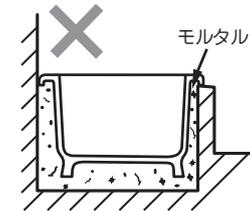
浴槽にものを落とさないでください。
傷が付いたり、ヒビが入って水が漏れ、家財を汚したり、腐らせたりします。



浴槽に火をあてないでください。
表面が変色したり、劣化を早めるおそれがあります。



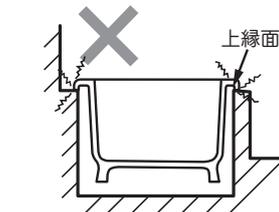
浴槽周囲にモルタル・砂などをつめないでください。
浴槽が傷む原因となります。



浴槽表面やエプロンをタイル洗いの塩酸などを含んだ洗剤
や、その他の溶剤で拭かないでください。
表面が傷みます。
もし、かかった場合はすぐに水で洗い流してください。



上縁面で浴槽を支える設置をしないでください。
浴槽に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。



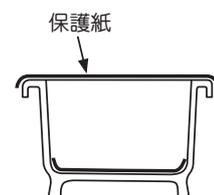
浴槽は据置き用です。
埋め込み設置はしないでください。



排水栓の下に物を置かないでください。
排水栓が閉まらなくなり、水漏れを生じるおそれがあります。



取付設置中は浴槽におおいをし、保護してください。
傷が付くおそれがあります。



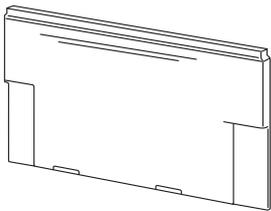
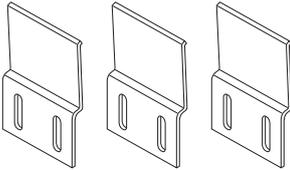
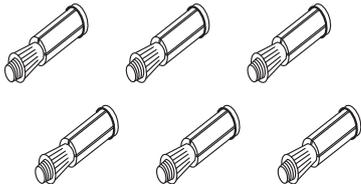
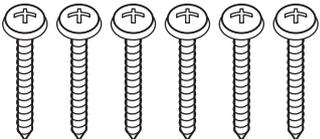
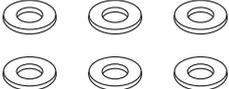
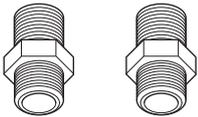
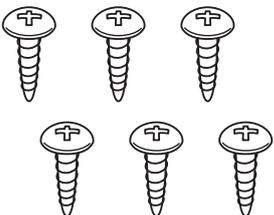
仕 様 に つ い て



注意

- ・本記載内容をよくお読みいただき設置してください。
- ・エプロンサポートを持って浴槽を取扱わないでください。
エプロンサポートまたは浴槽が破損するおそれがあります。

■ 付属品

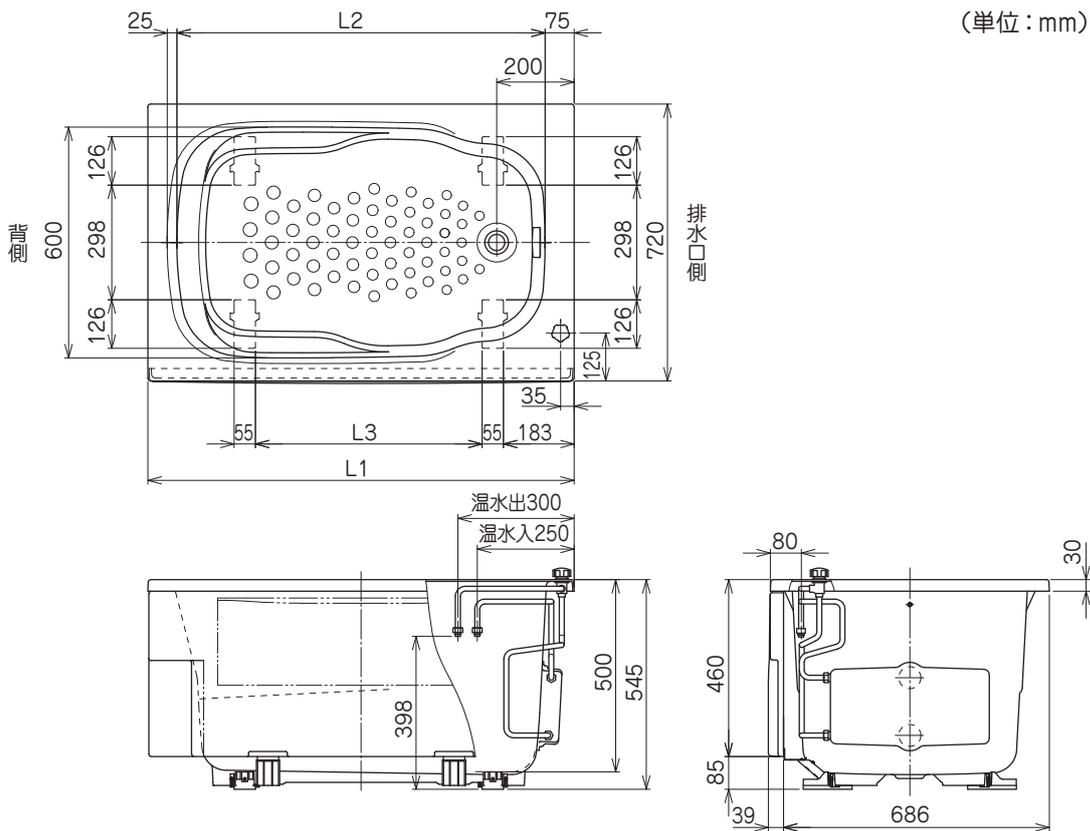
		
エプロン × 1	浴槽固定金具 × 3	AYボルト × 6
		
φ4 × 25 タッピンネジ × 6	平座金 × 6	アダプターB × 2
		
平パッキン × 2	取付設置説明書 × 各 1	取扱説明書(保証書付) × 各 1
		
φ4 × 16 薄板用タッピンネジ × 6		

■ 仕 様

型 式	HK-1172A9-1L-L/R	HK-1272A9-1L-L/R
外形寸法	幅 1100 × 奥行 720 × 高さ 545	幅 1200 × 奥行 720 × 高さ 545
満水容量	220L	250L
別売品(フタ)	CL-1101VGR9	CL-1201VGR9

■ 寸 法

(単位：mm)



- ・上図は、Rタイプ(エプロン取付右側)の例を示します。
- ・上図中の各L寸法は、下表を参照してください。

型式 \ 寸法	L1	L2	L3
HK-1172-※	1100	950	585
HK-1272-※	1200	1050	685

設 置 に つ い て

■ 設置前のご注意

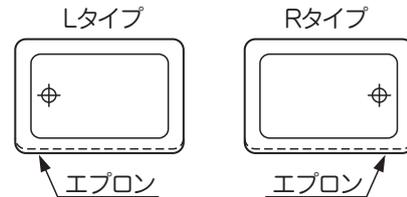
● 浴槽寸法の確認

浴槽寸法、出入口の寸法が浴槽据付・搬入できる寸法か確認してください。

● 左右の選定

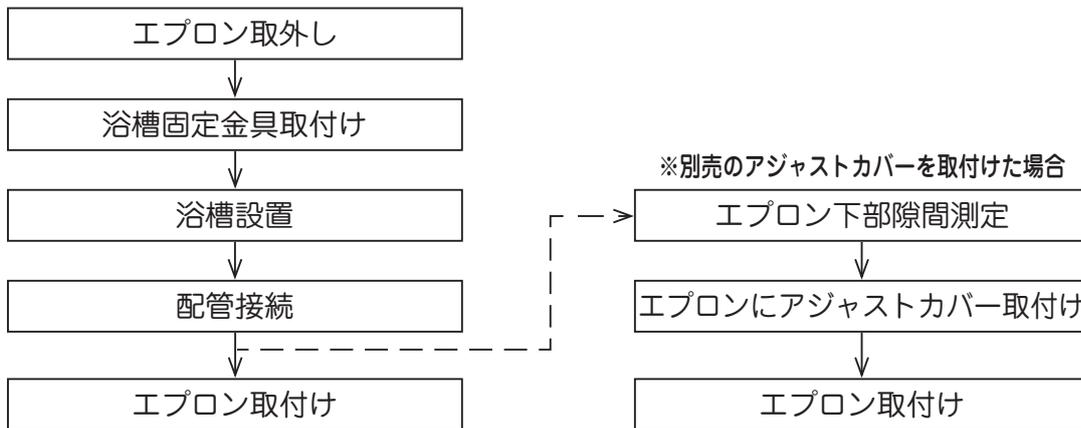
浴槽には排水口の位置により、右図のようにLタイプ(左)、Rタイプ(右)があります。

据付場所に合わせて機種を選定してください。



■ 設置手順のフローシート

● 標準的な設置は次の手順で進めます。



■ 浴槽からエプロンの取外し

エプロン下端を持ち、上方に持ち上げた状態で、下端の手掛部を手前に引いて取外します。



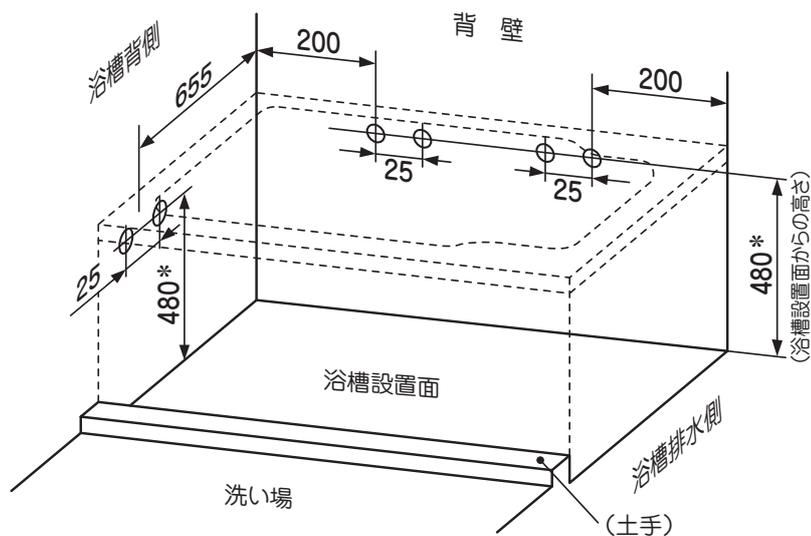
■ 浴槽固定金具の取付け

* 浴槽の脚下に別売の脚スペーサーやゴム脚を入れる場合、穴位置高さは記載寸法に板厚分をプラスしてください。(別売の脚スペーサーの板厚は50mm、ゴム脚の板厚は3mmです)

・ 固定金具は、下図記載の範囲内で取付けてください。

● 取付範囲 (穴加工位置: Rタイプの場合)

・ 浴槽を固定するために、浴槽背側の側壁に1個と、背壁に2個の固定金具を取付けます。



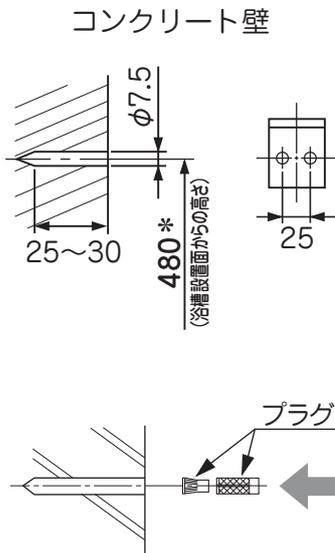
⚠ 注意

浴槽固定金具を取付けずに浴槽を設置すると、浴槽が転倒するおそれがあります。また、指定以外の位置に固定金具を取付けると、浴槽が転倒、破損するおそれがあります。

(1) 取付け準備

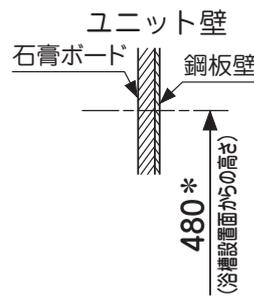
●コンクリート壁の場合

φ7.5のドリルを用いてAYボルト取付け用下穴をあけて、取付穴にAYボルトのプラグを挿入してください。



●ユニット壁（薄板鋼板壁の場合）

取付部にケガキをし、ポンチで芯出しをしてください。

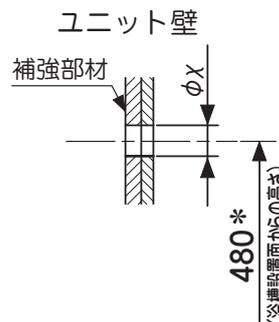


取付には、付属のφ4×16薄板用タッピンネジを6本使用します。

⚠ 他のネジを使用すると固定金具がずれたり、外れたりして浴槽が転倒するおそれがあります。

●ユニット壁（裏打ち補強部材ありの場合）

付属のタッピンネジもしくはユニット壁用アンカーを用いて固定します。



※1. 付属のタッピンネジを用いる場合は、取付部にケガキをし、ポンチで芯出しをしてください。

※2. ユニット壁用アンカーを用いる場合は、使用するアンカーに適した寸法の下穴をあけてください。(φX)



ユニット壁用アンカーイメージ図

⚠ 水が穴に入らないよう、穴入口及びボルト（ネジ）頭にシリコンコーキングを塗布してください。

⚠ 注意

- ・ユニット壁（薄板鋼板壁）に指定以外のネジで固定した場合、固定金具がずれたり、外れたりして浴槽が転倒するおそれがあります。
- ・ユニット壁に指定以外の径で穴をあけた場合、ユニット壁用アンカーが挿入不良となり、浴槽が転倒するおそれがあります。

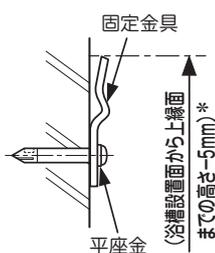
(2) 固定金具の取付け

・固定金具を下図の高さになるよう取付けてください。

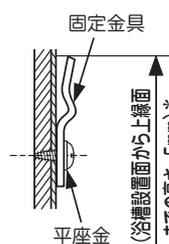
・ユニット壁（薄板鋼板壁）への取付の際には、薄板用タッピンネジの先端部を電動ドライバーでユニット壁にねじ込んだ後、手回しドライバーで締め込んで固定してください。

※ユニット壁（薄板鋼板壁）への取付の際には、電動ドライバー（インパクトドライバー等）で最後まで締めつけないでください。ネジが空回りするおそれがあります。

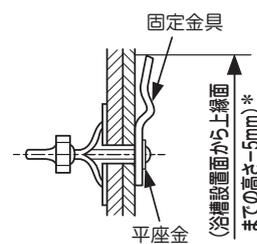
※取付け高さにズレが生じた場合は、長穴を利用して高さ寸法を調節してください。



AYボルト



ユニット壁
(薄板鋼板壁の場合)

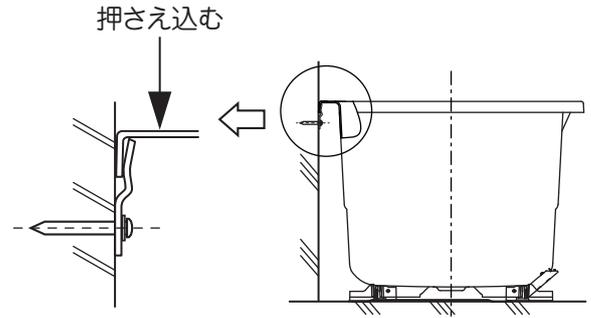


ユニット壁
(裏打ち補強部材ありの場合)

■ 浴槽設置

- ・ 浴槽を所定の位置に上から静かに設置します。設置の際、浴槽の縁を必ず固定金具に挟み込んでください。

※ 設置後、浴槽を軽く手前に引き、浴槽の縁が確実に固定金具に挟み込まれていることを確認してください。
脚が浴槽設置面に載っていることを確認してください。

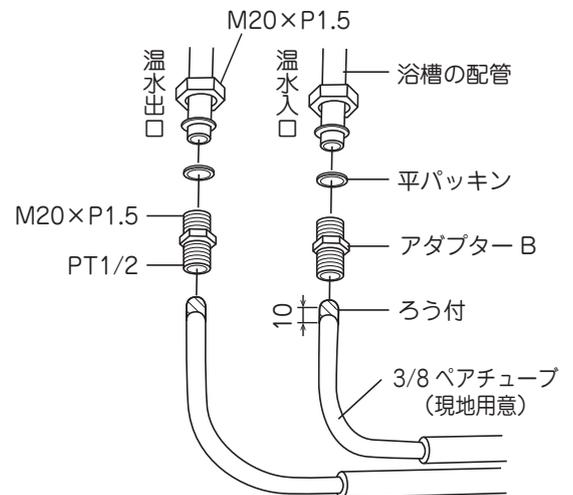


注意

浴槽の縁を固定金具に挟み込まないと、浴槽が転倒するおそれがあります。

■ 配管接続

- ・ 浴室壁面に取り出されている現地調達の接続配管と、ヒーティングバスの配管を接続します。
- ・ 温水配管に 3/8ペアチューブの先端をきれいにカットし、アダプター B に 10mm 程度差し込み、電気ろう付器でろう付けしてください。



注意

配管のろう付けは、原則として電気ろう付器で行ってください。
やむをえずトーチランプを使用する場合には、浴槽やバスユニット等に絶対に炎を当てないようにしてください。
表面が変色したり、劣化を早めるおそれがあります。

アジャストカバーを取付けない場合は次ページのエプロン取付けへ

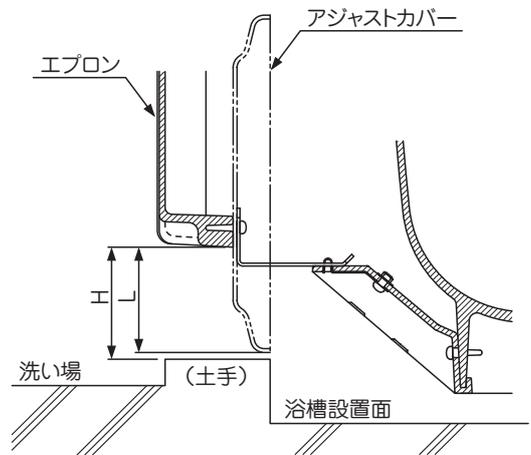
■ アジャストカバー取付け

※アジャストカバー取付け時のみの項目です。

(1) エプロン下部の隙間寸法測定

- ・アジャストカバーなしでエプロンを仮付けした状態で、エプロン下部から洗い場（土手）までの隙間Hを測定します。

※土手に勾配がついている場合、隙間Hが一番狭い部分を測定してください。



(2) アジャストカバー取付け調整

- ・エプロン下部の隙間Hを元に、アジャストカバーのエプロンへの取付け長さLを決めます。

アジャストカバー取付け長さL = エプロン下部の隙間H - 余裕代

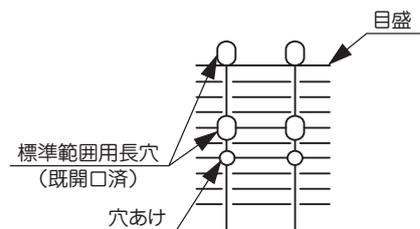
例) 30mm = 40mm - 10mm

- ・アジャストカバーのエプロン取付け長さLの寸法が標準範囲外の場合には、穴加工を行います。

アジャストカバー調整範囲	ビス穴加工	アジャストカバー取付け長さL
標準範囲	不要	55～70mm
標準範囲外	現地加工要	0～54mm

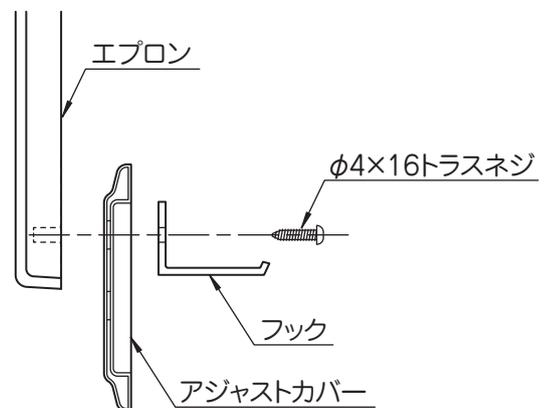
1) アジャストカバーに穴あけ（Lの寸法が標準範囲外の場合のみ）

- ・アジャストカバー裏面の目盛りを目安にして、φ5の穴を4ヶ所あけてください。



2) エプロンにアジャストカバー取付け

- ・エプロンからフックを取外した後、右図のようにエプロンとフックの間にアジャストカバーを取付けてください。



注意

ネジの締め付け過ぎには注意してください。
 ねじが空転してフックを固定できなくなる場合があります。
 (締め付けトルク0.98N・m以下)

■ 浴槽にエプロン取付け

エプロン下端を持ち、エプロン上端を浴槽フランジ部に差し込み、上方に持ち上げた状態で、下端の手掛部を浴槽側に押し込みます。
前後左右に軽く力を加えて外れないことを確認します。



■ 確認 ❗ 設置完了後、必ず確認してください。

(1) 浴槽設置状態の確認

浴槽本体にガタツキがなく、水平に設置されているか確認してください。

(2) エプロン固定状態の確認

浴槽フランジ部とエプロン両端にズレがないか確認してください。
エプロンにガタツキがないか確認してください。

(3) 清掃

浴槽内のゴミや異物を取り除いてください。

(4) 水漏れの確認

配管の接続後、バスヒーターおよびバルブの接続の袋ナットをもう一度増し締めしてください。
ヒーター配管に水を流し、水漏れのないことを確認をしてください。

(5) 試運転

浴槽に水もしくはお湯を張り(上部循環口より10cm以上)、温水暖房機を暖房運転にし、温水が上部循環口より出てくることを確認してください。

(6) 引き渡し

お客様に正しい使い方をご説明の上、保証書にお買上げ日、型式、販売店名を記入し、取扱説明書を必ずお渡しください。

■ 設置店様へ

取り替え等で古い浴槽を処分する場合は、浴槽の材質を確認してください。
その後、許可を受けている処理業者に処分を依頼するか、破碎の上、許可された処理場にて処分してください。
なお、行政の条例等で処理方法が定められている場合は、そちらの指示に従ってください。

株式会社ハウステック

〒 370-0841 群馬県高崎市栄町 1-1

734S1805EG